

| | | | | | |
|-----|----|----|----------|----|-----|
| 教科名 | 理科 | 科目 | 物理演習(進学) | 単位 | 3単位 |
|-----|----|----|----------|----|-----|

1. 教科書および副教材・参考書

教科書

改訂版 物理 (数研出版)

副教材

スタディーノート 物理

2. 授業の目標および内容

物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

3. 試験について

| | 1 学期 | | 2 学期 | |
|------|-------|-------|--------|--------|
| 定期試験 | 一次 5月 | 二次 7月 | 一次 10月 | 二次 12月 |
| 学力試験 | 1回 6月 | | 第1回 9月 | |

内容・難易度について

- ① 定期試験：試験時間は50分で行い、授業プリントの問題を中心に出题します。平常の物理の授業に並行して簡単な基礎から学習問題・応用問題をノートに解いておくことが大事です。
- ② 学力試験：60分の試験時間となります。試験の範囲は、1年次の最初からの全範囲となります。広い範囲からの試験になりますので、日頃からのまとめが必要になります。

4. 課題・補習について

夏休みに、探究活動・演習などの課題が与えられます。

5. 評価の視点

学期評価は1次試験と2次試験の平均点に平常点を加味します。

平常点として考慮されるもの

宿題プリント 授業レポート 長期休みの宿題、小テスト等

授業計画

| 学期 | 単 元 | 学 習 内 容 | 備 考 |
|-------------|---|--|-----------------------|
| 1 学 期 | <p>【問題演習】</p> <p>①力学 物体の運動とつり合い・平面内の運動・放物運動・剛体のつり合い・運動量の保存・反発係数・円運動・慣性力と遠心力・単振動・万有引力</p> <p>②熱力学 気体の状態方程式・気体分子の熱運動・熱力学第1法則・気体の状態変化・熱と仕事</p> <p>④波動 波の性質・波の干渉と回折・波の反射と屈折・音波・ドップラー効果・光の性質</p> <p>③電磁気学 電界と電位・電流</p> <p>基礎学力試験対策</p> | <p>基礎基本の徹底理解をするために学習済みの範囲の演習を行う。</p> <p>基礎学力試験・共通テストレベルの問題演習</p> | <p>プリント問題にて演習を行う。</p> |
| 2 学 期 | <p>基礎学力試験対策</p> <p>③電磁気学(1学期の続き) 電流と磁界・電磁誘導と電磁波</p> <p>④原子 電子と光・原子核</p> | <p>基礎学力試験・共通テストレベルの問題演習</p> <p>大学入試全般に対応した問題演習</p> | <p>プリント問題にて演習を行う。</p> |